

要請番号 (JL60318A08)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ジブチ	A101 コミュニティ開発		個別	交替 2代目	2年	・ 2018/3 ・ 2018/4 ・ 2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

外務・国際協力省

2) 配属機関名 (日本語)

LWF (エルダブリュエフ)
NGO

3) 任地 (ジブチ市) JICA事務所の所在地 (ジブチ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

世界各国のキリスト教ルター派教会のための連帯組織が母体のNGOで、ジブチではケニア事務所の支部として事務所が発足、2014年に地方難民キャンプ(アリアデ、ホルホル)において、2015年に首都において難民支援業務を開始した。UNHCRから業務委託を受けて、周辺国から流入してきた難民に対し、コミュニティ・サービス、教育、身体障害者支援、就職技術指導などを展開している。LWF以前にUNHCRの業務委託先であったAPEF(家族保護協会)には、コミュニティ開発の青年海外協力隊(JV)3名、青少年活動JV2名が派遣された。現在活動中のJV2名(2016年度3次隊)は、首都での活動を中心としている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

上述の地方難民キャンプでは、これまで数代にわたるコミュニティ開発JVが女性グループの収入向上のために『おみやげプロジェクト』として、手工芸品の製作・販売を支援してきた。また、青少年活動JVが子供たちを対象に情操教育的活動や保健教育を実施してきた。同様の活動を首都難民に対しても展開することが求められ、現在活動中のコミュニティ開発JVは、首都郊外にある配属先のセンターにおいて、難民女性のための手芸教室の運営を担当する傍ら、養成学校などで裁縫を指導する家政・生活改善JV2名と連携して、アリアデ難民キャンプの女性グループも対象に含む『おみやげプロジェクト』の実施を推進している。同配属先の青少年活動JVは、就学できていない首都の難民児童を対象にした諸活動の実施サポートを行っている。配属先からは、両JVの活動を統合した支援の継続が求められており、コミュニティ開発JVの後任要請となった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.配属先関係者の協力の下、難民女性を対象に、既存の活動(手工芸品の製作・販売など)の自立的継続を支援したり、活動対象者のニーズに合わせて新しい活動の企画・運営を促進したりする。
- 2.配属先が難民の児童を対象に計画する教育的活動やレクリエーション、スポーツ活動に関し、実施をサポートしたり、改善や効果向上を図ったりする。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

手芸用具、足踏みミシン、デスクトップ型PC(Windows7)、スポーツ用具、絵描き用具

4) 配属先同僚及び活動対象者

ジブチ事務所代表:ケニア人男性40歳代
副代表(地方事務所長):女性30歳代
センター長:女性40歳代
コミュニティ・サービス及び教育担当:エチオピア人男性1名、ソマリア人男性1名
活動対象者:女性20-40歳代、児童(5-13歳)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等]: () [学歴]: () 備考:

[性別]: (女性) 備考:対象者が女性のみの活動を含む [経験]: () 備考:

[参考情報]:

- ・フィールド/市場調査、販売促進等の経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (熱帯夏季少雨気候) 気温: (22~39℃位) [電気]: (不安定)

[通信]: (インターネット可 電話可) [水源]: (不安定)

【特記事項】

ジブチでは6-8月は最高気温45度以上を記録する
訓練言語はフランス語

【類似職種】

・青少年活動
※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。